

No.	部局等	担当課	課題分類	事業名	事業概要（現状）	課題内容	課題に対する提案（解決方法）	評価（廃止・改善・統合・維持等）	評価の理由等
1	企画教育総務委員会	広報情報課 生涯学習・スポーツ課	新たな課題	体育施設のオンライン利用申請	地域体育館（指定管理）の利用申請受付は、指定管理者である各地区自治振興会が人員を常駐して行っている状況にある。	<ul style="list-style-type: none"> 現在、紙ベースで利用申請を受け付けているが、件数が多く、今後、部活動の地域移行で、受付業務が更に煩雑になる懸念がある。 市内で利用可能な施設を探している方にとっては、一度に全施設の空き状況等を確認できる環境が望ましいと思われる。 	<p>他自治体の事例（例：射水市公共施設予約システム等）を参考に、オンラインで体育施設の予約や申請ができるシステムを市で導入し、例えば委託業者がシステムを管理運営して予約受付業務を担い、各地区は実際の利用に係る施設の管理運営を行うなど、役割分担して連携することで、各地区における利用申請業務の省力化を図り、利用者の利便性の向上につなげられないか検討するもの。</p> <p>また、利用料金の徴収方法等についても検討が必要となる。</p>	改善	利用者の利便性向上につながる申請手続の省力化や空き状況の公開について、どのような手法が考えられるのか調査・研究のうえ、導入に向けた検討を行うこと。
2	企画総務部	総務課（選挙管理委員会）	懸案事項	投票区の適正規模の検討・見直し	地区毎に1箇所の投票区を設置しているが、選挙権年齢の引下げや杉木土地区画整理事業等の影響で、出町投票区の規模が更に拡大傾向にある。	<ul style="list-style-type: none"> 期日前投票が増えているものの、出町投票所の混雑による投票環境の悪化やそれに伴う選挙人の投票意欲の低下が今後懸念される。 林地区自治振興会に属している杉木、新栄町が出町投票区であるため、林地区では投票管理者や投票立会人を杉木、新栄町から選任できない状況にある。 	<p>出町投票区の選挙人名簿登録者（約9,000人）のうち、林地区自治振興会に属する杉木や新栄町の登録者（約1,500人）について林投票区（登録者約2,200人）に移動してもらうことで、各投票区規模の平準化を図ることができないか検討するもの。</p>	改善	現在の投票区の規模を見直す必要性について、地区自治振興会を通じ関係者の理解を得ながら進めること。